

## 第 12 回 放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 25 年 2 月 12 日 火曜 午前 10 時 30 分～13 時 00 分

2. 開催場所 株式会社テレビ朝日本社 8 階 特別会議室

3. 委員の出席

委員総数 8 名

出席委員数 7 名

出席委員の氏名

委員長 池井 優 (慶応義塾大学名誉教授 法學博士)

委員 黒鉄 ヒロシ (漫 画 家)

委員 石田 則明 (無線システム研究所 代表)

委員 藤田 興彦 (財) 児童育成協会 (こどもの城) 理事長)

委員 高木 美也子 (日本大学総合科学研究所 教授)

委員 元村 直樹 (早稲田大学大学院 国際情報通信研究科 客員講師)

委員 丹羽 美之 (東京大学大学院 情報学環 准教授)

欠席委員の氏名

委員 戸張 捷 (㈱ランダムアソシエイツ 代表取締役)

放送事業者側出席者氏名

株式会社テレビ朝日 編成制作局総合戦略部 部長 谷口 洋一

戦略担当部長 奥村 彰浩

コンテンツビジネス局

C S 事業部 部長 荻田 英次

営業担当部長 出田 旬

編成担当 佐々木 崇

4. 議 題

テレビ朝日「テレ朝チャンネル」「朝日ニュースター」の番組について

5. 議事の概要

・テレビ朝日コンテンツビジネス局 C S 事業部事業報告・編成説明

・番組審議

「テレ朝チャンネル」課題番組の審議 『別冊ももクロChan』

「朝日ニュースター」課題番組の審議

『フィギュアスケートグランプリシリーズシリーズ世界一決定戦  
アメリカ大会 男子ショート』

6. 審議内容

テレビ朝日CS事業部の事業報告・編成説明、および番組審議・委員意見

昨年4月の「朝日ニュースター」の事業譲渡により、2チャンネルの放送事業を行い1年が経過しようとしている。来たる4月からはチャンネル名称をそれぞれ「テレ朝チャンネル1 ドラマ・バラエティ・アニメ」「テレ朝チャンネル2 ニュース・スポーツ」に変更する予定。

【テレ朝チャンネル】

- 総合エンターテイメントチャンネル。契約視聴総世帯数は約450万世帯。
- この1年間で約23万件的純増を示し、CS放送全体が伸びが足踏み状態の中、110度サービスを中心に順調に視聴世帯を伸ばしている。
- 昨年10月からテレビ朝日が関東のみで放送している字幕の付いたバラエティ番組「ガリガリくりいむ」「大人のバナナ」「激論！どっちマニア」「ショナイの話」を編成し、地方の視聴者から好評を得ている。
- 人気作家貴志祐介原作のアニメ「新世界より」を地上波に先駆けて放送。週末や年末には「ももクロ」のライブやドラマの一举放送を行い、視聴者から高い評価を得ている。
- 4月からは、ドラえもんのレギュラー放送や、プリキュア、セーラームーンなどの人気アニメを新たに開始する予定。また、地上波で人気のバラエティ番組の傑作選やスピンオフ番組の編成も予定しています。

◆テレ朝チャンネル『別冊ももクロChan』番組審議◆

番組概要：昨年の紅白歌合戦にも出場したアイドルグループ「ももいろクローバーZ」を起用した、テレビ朝日の動画配信オリジナル番組のスピンオフ番組として2011年にスタートしたもの。10代の人たちに限らず幅広いファン層に向けた番組。

〈委員意見〉

- ファンの人には楽しい番組と思う。
- ファンの目線で舞台裏や素顔を紹介しており良かった。
- 10代の若者をどうやってやる気を起こさせるのか、など興味深かった。
- ハンディカメラの自然なカメラワークは理解するが、もう少し落ち着きのある映像が欲しかった。

- テレビは年代別、ジャンル別でみる番組が違うものであり、この番組は自分の年代には理解しにくいものであった。
- 「ももクロ」がまだ無名の時代からいち早く番組化してきた先見の明は評価すべき。
- 「ももクロ」の粗削りながら成長過程が垣間見えた。ただ、作られた感もあるので、より自然な成長を感じる作り方に期待する。
- 中高生がターゲットであろうが、もう少し何か与えるものが欲しかった。
- 路上ライブから始めるなど、身近な存在としての新たなアイドルタレントの売り方に迫ったということで興味深かった。

#### 【朝日ニュースター】

- 報道系の番組をはじめ、プロ野球やサッカー、フィギュアスケートなどのスポーツ中継を強化し、新たな視聴者を獲得している。
- 契約視聴総世帯数は約558万世帯。2013年4月からはIPTVの「ひかりTV」に参入予定であり、約70万世帯の増加が見込まれる。
- 編成は、引き続き西武ライオンズ戦やフィギュアスケート、サッカーなどの中継を充実させると同時に、4月に新たに午後帯のニュース番組を開始させるなどコンテンツを一層強化させ加入者の拡大を目指します。

#### ◆朝日ニュースター『フィギュアスケートグランプリシリーズ世界一決定戦』

##### アメリカ大会 男子ショート』番組審議◆

番組概要：テレビ朝日の重要コンテンツであるフィギュアスケート グランプリシリーズアメリカ大会4種目競技の生放送。日本時間の深夜放送にもかかわらず注目3選手が出場したこともあり好評だった。

#### 〈委員意見〉

- 時差にもかかわらず生放送で会場と同じ時間を共有でき、CSならではの地上波との差別化の意味で良かった。
- コーチの意見や指示の声などをもっと取り入れることにより、特徴がつき、より独自感を出せるのでは。
- カメラワークをもっと工夫できるのではないかな。
- 氷を削る音や会場の音など、もっと音声に工夫を凝らすとマニアには良いのでは。
- 画一的になりがちなスポーツ中継の在り方を考えることも必要ではないかな。

#### 7. 審議機関の答申又は改善意見に対してとった措置その年月日

今回の審議会に出された意見については、審議会が開かれた平成25年2月12日以降、各番組のプロデューサー、担当者へのフィードバックをはじめ、番組制作会議等で活用し、更なる番組の向上のために適切な措置を講じるよいう努めています。

8. 審議機関の答申又は意見の概要を公表した場合におけるその公表の内容、方法、及び年月日

平成25年5月以降に、ホームページに審議会概要を掲載、公表する予定です。

9. その他の参考事項

平成25年度、次回の放送番組審議会は、8月～9月に開催予定。

以 上